

消費者との接点を増やせ! 社員1.7万人の意識変革に乗り出す**東京ガス**のネット通販事業

財界

Z A I K A I
a Japanese business biweekly

本業の深掘りへ
「中古住宅ファンド」に
本格的に取り組む
三井住友信託銀行の思惑

夏季特大号
2019 7/9

◎インタビュー
国際協力銀行総裁
前田 匡史
日本M&Aセンター
会長
分林 保弘

グローバル経営を支える経営哲学とは?

社員の過半は
外国籍

期待を超える商品づくりでグローバル展開を

アサヒグループHD・小路明善の感動共有論

本誌主幹 村田博文



東日本税理士法人
会長
長 隆
撮影 齊田 勲

令和元年7月9日発行 隔週火曜日 令和元年6月25日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第67巻第14号



たかはし・やすよ

歯学博士。1985年日本大学歯学部卒業。日本大学歯学部矯正学教室入局。2004年青山高橋矯正歯科医院開業。日本矯正歯科学会認定医、東京矯正歯科学会所属、一般社団法人・アミチエ ソン フロンティアール インターナショナル ジャパン上級理事をつとめる

高橋 池田先生は人を美しくしたいということへの思いや探求心が非常に強い方で、わたしも大変尊敬しています。こちらこそ今日はありがとうございました。

わたしは東京で生まれ、父が歯科医だったこともあり、小さい頃から将来は歯科医になるものだと思っていました。いろいろな勉強していく中で、普通の歯科とは違う矯正という分野に興味を持つようになりまして、歯を使って、正しい顎の位置を見つめたり、曲がっている顎を治したり、

頭痛を治したりできるからです。その後、大学を卒業して、矯正専門の医局に入りまして、そこで6年間勉強し、認定医となりました。実は主人も同じ矯正歯科医です。それまでは主人のところを手伝っていたのですが、自分で独立して、自分が責任をもって患者さんを治したいと思うようになりました。

池田 独立される時に周りから反對されたりはしなかったのですか。

高橋 かなりされました(笑)。開業したのが42歳の時でしたから。

池田 仰る通りですね。今は美容医療の世界も顔を変えないという新

当時は子供が中学1年生でした。わたしとしては、子供が小学生から中学生に進学したので、ちょっとは子育ても落ち着くだろうと思っていました。しかし、やはり、周りの人たちは子育てもあるし、この年齢では遅いとか、いろいろ言われたりしました。ですが、わたしはどうしても自分でやりたくて、独立したのです。

池田 退路を断つてということですね。

高橋 ええ。青山高橋矯正歯科医院は、歯並びを治す矯正専門の歯科医院でして、開業して16年になりました。わたしは歯を並べるのではなく、呼吸を変え、美しい機能を持つ歯並びを再構築したいと考えています。矯正して歯を並べるといっても、歯を使って骨格をきれいにすることによって、患者さんを笑顔にできたり、人生を明るく元気にすることができると。そういう意味では、自分自身、矯正歯科というのは天職だと思っています。

これはおそらく美容医療の分野で活躍されている池田先生と同じだと思います。

たなステージに入りまして、いわゆる整形ではなく、自らの若さを維持するというステージに入っています。やはり、年齢に関係なく、見た目が若い人というのは、元気でいきいきしている人が多いですよ。そういうやつうちのクリニックにやってきた患者さんが元気になるって帰っていく姿を見ると、こちらも嬉しくなりますね。

頭痛や肩こりの原因が歯かもしれない！

池田 実際、患者さんとしてはどのような方がいらっしゃるのですか。

高橋 小学生から年配の方まで様々な悩みを抱えた患者さんが来院されます。例えば、年配の方では肥満になって奥様から無呼吸症候群ではないかと疑われた方が、うちで矯正治療を始め、顎の位置が変わり、呼吸も楽になってよく眠れるようになったとの話もありました。

あとは最近多いのは、頭が痛い、体がだるい、風邪をひきやすいという患者さんです。お子さんにも多いですね。

池田 子供の患者さん多いんですか。

高橋 ええ。口の中がガタガタに

「多くの方々を笑顔に、元気にするためのお手伝いを！」

東京皮膚科・形成外科 総院長 池田 欣生 × 青山高橋矯正歯科医院 院長 高橋 康代



いけだ・よしお

大阪医科大学卒業。1996年大阪医科大学附属病院形成外科入局。同大学附属病院形成外科病棟医長、東海大学病院形成外科・美容外科臨床助手を経て、2000年大阪いけだクリニック開院。04年銀座いけだクリニック開院。現在は東京皮膚科・形成外科総院長の他、東海大学病院形成外科非常勤講師、一般社団法人・JAAS日本アンチエイジング外科学会理事長をつとめる

東京・青山で矯正歯科医として独立して16年余。本来あるはずの人間の機能を再構築したいと考えているのが青山高橋矯正歯科医院院長の高橋氏。池田氏同様、「対症療法ではなく、その人に合った治療方法を考えて健康にしていくこと」が信念だ。

患者さんの人生が明るく豊かになるために

池田 今回は青山高橋矯正歯科医院院長の高橋康代先生にご登壇いただきました。人は歳を取ると全体の骨のバランスが変わってくるものです。わたしが再生医療などの研究を進める中で歯というのはなかなか難しい分野で、専門家である歯科医の意見を聞ければと思って高橋先生をご紹介いただきました。まずは高橋先生の自己紹介からお願いできますか。



代なのかわかりませんが、歳を取ったのだから仕方がないとか、どこかで諦める瞬間があるので。周りの人たちが6代になって若くなりたくなっておかしきと言う人が多いのです。でも、わたしはそれって自然なことだと思ってるのです。特に、日本はこれから人生100年時代を迎えます。だったら、例えば、自分が50代になって20代とか30代の若かった頃に戻りたいと考えるのは当然のことだと思っております。

高橋 これと同感ですね。こういう言い方が適切かどうかかわかりませんが、美容整形の先生というのは今の顔をきれいにすると、今、を

なっている原因というのは、今のお子さんは上顎が狭いのです。わたしが診ている患者さんの約8割以上は上顎を拡げないとならない。口の中が狭い為に滑舌が悪く、何を話しているのか分からない。そこを指摘されるとコンプレックスを抱くようになり、消極的になってしまい、時によってはいじめられることもあるのです。

池田 その原因は分かっているのですか。

高橋 やはり、昔と違って若い子が硬いものを噛まないということもありませんし、柔らかいものや簡単に溶けるものを食べる傾向がありますよね。そうすると脳が噛むという機能を忘れていく。

高橋 あるお母さんが「うちの子は、なぜか保健室にも行ってしまつて……」とお話をされました。お腹が痛いと言い、すぐに保健室に行つてしまつたと言っています。でも薬を飲んで治らない。ところが、わたしのところに来てレントゲンを撮つたらすぐに原因が分かった。レントゲンを見せて、こんなに背骨が曲がついて、呼吸も浅く、喉が腫れている、ちゃんと噛めてないことが腹痛の要因だったのです。

お母さんは、まさか歯医者でそんなのが治るわけがないと思つていました。

ので、本当に驚いていました。矯正治療で上顎を拡げるという治療は、実は鼻腔を広げることに繋がります。結果、呼吸が楽になる、だからこそ副鼻腔炎（蓄膿症）の予防や、無呼吸症候群の改善にも繋がります。呼吸が変わることで、子供たちが健康というものに根本からしっかりと向き合い始めるのです。

池田 アメリカでは歯の矯正は親の責任という考えが根付いているのですよね。

高橋 アメリカではそれが教育の一環として定着しているのですが、日本では矯正イコール歯並びを良くするための治療という認識に留まっている。だから、歯並びを良くしても頭痛が改善しないというのは、根本的な問題を解決していないからと言わざるを得ません。

健康で美しいというのは、全ての機能が伴ってこそだと思つたのです。上顎を拡げることで呼吸を変えられ

治すじゃないですか。でも、池田先生は対症療法ではなく、患者さんが美しく、美しい未来の姿に合せて最善解を求めている。そういう探求心というか、患者さんの将来を考えているというのがすごいと思います。

わたしも来年60歳になります。人生100年だと考えたら、まだ40年もあるのです！これからはどう生きるかを考えると、やっぱり元気に明るく生きていきたい。わたしに活力を与えてくれるのは患者さんの笑顔。多くの方々に本来の輝く姿に戻し、笑顔で「ありがとう」と感謝される。これがわたしの生きる喜びでもありますし、生きているかぎりには使命として続けていかなければならないと考えています。

池田 最後に、高橋先生が健康を維持するために心掛けていることはありますか。

高橋 わたしはある慈善団体の上級理事を務めています。その団体の理念は「人生を愉しむことが人道支援に繋がる」というもの。世界中の華やかな舞踏会に出席し、この年齢のわたしがこんなにも輝ける！その活動が多くの人々に活力を与えらるると信じています。ロングドレスを着ることも日常になりました。舞



ボニーダンスに挑戦したり、常に参加したりと、高橋さんのモチベーションを高める

たり、顎の正しい位置を見つけないとよって左右の身体のバランスを自ら整える力を持てるようになったり、わたしはそういうお手伝いをしたいと思つています。

たかが歯かもしれませんが、されど歯です。歯が無くて生きていけないかもしれないが、一生自分の歯があつて、自分の歯で食事ができて、一生笑顔でいられるような手伝いができれば、日本が明るくなるとわたしは信じています。

対症療法ではなく、未来を治す

池田 そういう話を聞くと未来が広がりますよね。

わたしも美容医療の世界に長く携わつてきて、昔も今も若くなりたい、きれいになりたいという願望は皆さんも持っているのです。でも、ある時期を境に、それが50代なのか、60

踏会も日常になりました。そんな経験を一人でも多くの人に体感していただきたいです。

他にも、トロンボーンを演奏したり、ヨットにも乗ります。何かに挑戦し続けることが楽しいのです。今後もわたしが元気でいることで、一人でも多くの患者さんを元気にすることができればと思つています。

青山高橋矯正歯科医院

〒107-0062 東京都港区南青山4-6-2

TEL 03-3401-3663

HP <http://www.aoyama-kyousei.com/>

東京皮膚科・形成外科銀座院

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座3F

TEL 03-3545-8000

HP <http://www.251901.net/>